

伊集院保健所感染症情報

2023年第35週（令和5年8月28日～令和5年9月3日）

【お問い合わせ先】 〒899-2501 鹿児島県日置市伊集院町下谷口 1960-1 鹿児島地域振興局保健福祉環境部（伊集院保健所）

TEL (099) 273-2332 / FAX (099) 272-5674 / E-mail kago-kenko-shippe@pref.kagoshima.lg.jp

鹿児島地域振興局 URL <http://www.pref.kagoshima.jp/ak01/chiki/kagoshima/index.html>

● 定点把握感染症



COVID-19 の報告数が 2 週連続増加しました。基本的な感染対策（換気、手指消毒、咳エチケット、混雑した場面や重症化リスクがある方と接触する際のマスク着用、共用部分の消毒等）をもう一度確認しましょう！

高齢の方と会う場合や大人数で集まる場合は、体調を整えて感染予防を心がけましょう。



定点医療機関【インフルエンザ5、小児科3、基幹定点1】

疾患名	警報基準値		注意報	伊集院保健所管内					県	
	開始	終息	基準値	第32週	第33週	第34週	第35週	先週からの増減	第34週	前週からの増減
インフルエンザ	30	10	10	3.20	1.80	1.60	1.40	↓	2.40	↗
COVID-19	-	-	-	17.00	13.60	13.80	16.60	↗	13.48	↗
咽頭結膜熱	3	1	-	0.33	0.00	0.00	0.00	→	0.49	↗
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-	0.67	0.67	0.00	1.33	↗	0.74	↗
感染性胃腸炎	20	12	-	0.00	0.00	0.33	0.00	↓	3.40	↗
水痘	2	1	1	0.00	0.00	0.33	0.00	↓	0.06	↓
手足口病	5	2	-	0.00	0.67	0.33	1.33	↗	0.75	↗
伝染性紅斑	2	1	-	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.04	↗
突発性発しん	-	-	-	0.00	0.00	0.00	0.33	↗	0.43	↗
ヘルパンギーナ	6	2	-	2.67	1.33	1.00	0.00	↓	1.42	↗
流行性耳下腺炎	6	2	3	0.00	0.33	0.33	0.00	↓	0.11	↗
RSウイルス感染症	-	-	-	1.00	1.00	0.67	1.67	↗	0.81	↓
基幹定点からの届出状況			該当なし							
インフルエンザ入院サーベイランス			該当なし							
全数報告（カッコ内は本年の累積数）			該当なし							
※警報域：太文字で赤色の塗りつぶし、注意報域：太文字で黄色の塗りつぶし										

● TOPIC デング熱とは

蚊に刺されない、蚊を発生させない対策が必要です！



デングウイルスが感染しておこる急性の熱性感染症で、発熱、激しい頭痛や筋肉痛、皮膚の発疹などが主な症状です。予後は比較的良好な感染症ですが、希に患者の一部に出血症状を発症することがあり、その場合は適切な治療がなされないと、致死性の病気になるります。ウイルスに感染した患者を蚊が吸血すると蚊の体内でウイルスが増殖し、その蚊が他者を吸血することでウイルスが感染します（蚊媒介性）。毎年、海外の流行地で感染し日本に帰国した症例が報告されていますが、2014年には国内感染事例も報告されています。

海外の流行地（東南アジア、南アジア、中南米など）にでかける際は、蚊に刺されないよう長袖、長ズボンの着用しましょう。また蚊の忌避剤なども利用しましょう。帰国後の体調不良時には、医療機関を受診しましょう。

もっと詳しく知りたい方は…

厚生労働省「デング熱に関するQ&A」



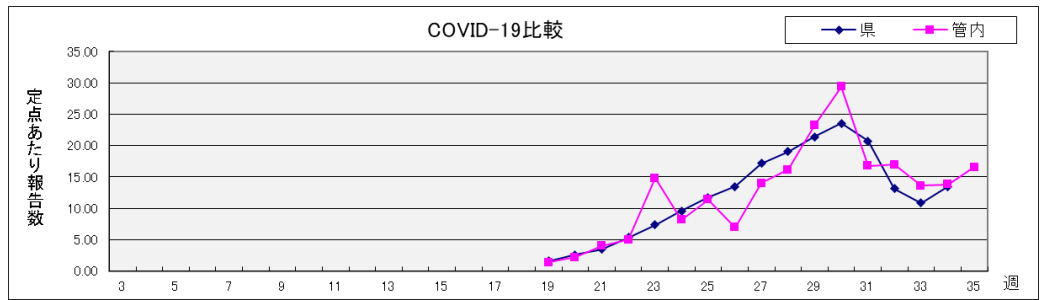
厚生労働省 検疫所 FORTH「デング熱とは」



● 注意すべき感染症

・ COVID-19（新型コロナウイルス感染症）

今週の伊集院保健所管内における COVID-19 の報告数は、前週の 69 人（定点あたり 13.80）から 14 人多い 83 人（16.60）でし

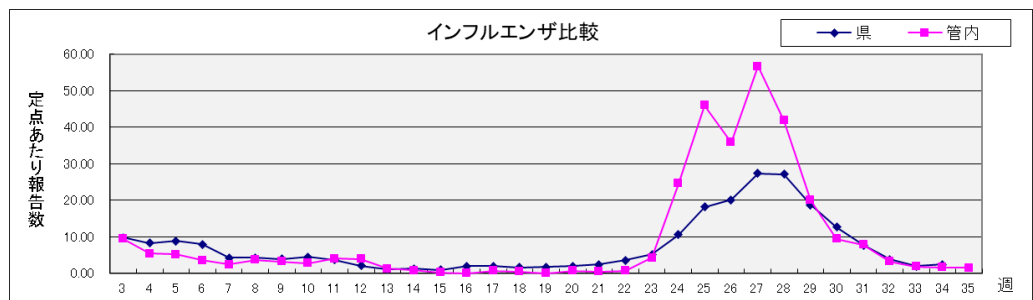


た。年齢別では、40～49歳・50～59歳・80歳以上（各9人）、10～14歳（8人）、7歳・8歳（各6人）の順で多い報告でした。

☆**新型コロナ療養の目安**：発症日（無症状の場合は陽性となった検査の検体採取日）から5日を経過し、かつ症状が軽快して24時間経過するまで（学校保健安全法も同様）。また、発症日から10日間はマスクを着用し、周りに感染させないようにしましょう。

・ インフルエンザ

今週の伊集院保健所管内におけるインフルエンザの報告数は、前週の 8 人（定点あたり 1.60）から 1 人少ない 7 人（定点あたり 1.40）



でした。年齢別では、6歳（2人）、3歳・4歳・15～19歳・40～49歳・70～79歳（各1人）の順に多くなっています。

小児ではまれに急性脳症を、御高齢の方や免疫力の低下している方では二次性の肺炎を伴うなど重症になることがあります、それぞれ注意が必要です。

☆**インフルエンザ罹患後の登校基準**：発症した後5日を経過し、かつ解熱した後2日を経過してから（学校保健安全法）。

○学校における感染症による出席停止の状況 8/28～9/3

（出典：学校等欠席者・感染症情報システム）

2学期が始まりました。体調不良時は無理をせず、自宅で休養しましょう。

自治体名	疾患名 インフルエンザA型	溶連菌感染症	新型コロナ 感染症
日置市	0	0	26
いちき串木野市	1	1	9
三島村	0	0	0
十島村	0	0	0
計	1	1	35

感染症対策と 熱中症予防

- ・せきなどの症状があるときは、人込みへ行くことを控え、人と会う時にはマスクを着用しましょう。
- ・発熱や咳など、何かしらの症状があるときには、高齢者や基礎疾患をお持ちの方、妊婦さんに会いに行くことは控えましょう。
- ・お肉はよく焼きましょう。
- ・蚊やマダニに刺されないように、長袖・長ズボンを着用し、虫よけ剤を使用しましょう。
- ・石鹸で手をよく洗いましょう。こまめに手指消毒を行いましょう。
- ・十分な睡眠と栄養バランスの良い食事をとり、体力づくりをしましょう。
- ・エアコンや扇風機を使い、のどが渇かなくてもこまめに水分を取りましょう。
- ・エアコンの使用時も、定期的に換気をしましょう

